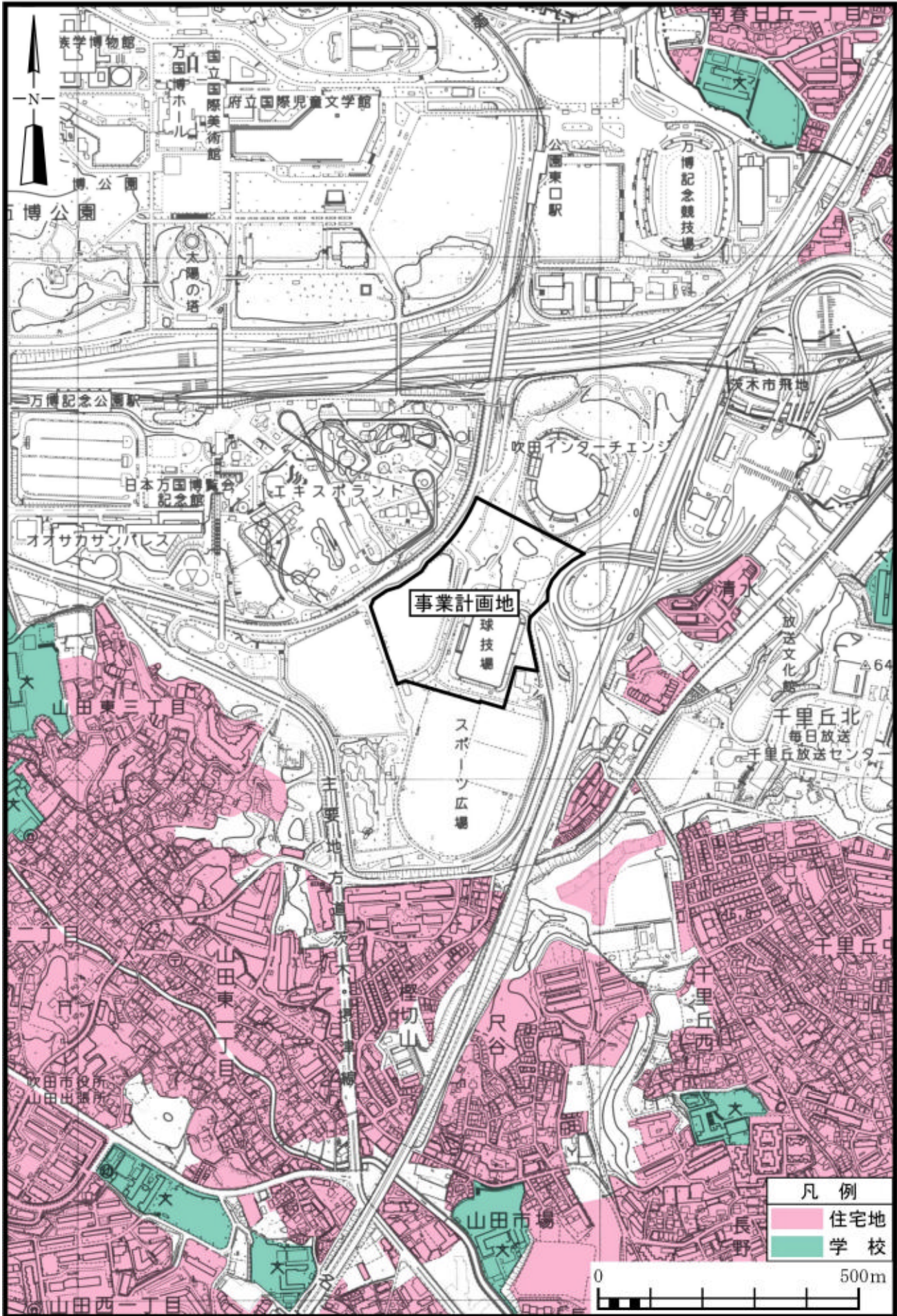


## 事前質問回答表

項目	質問	回答
【温室効果ガス・エネルギー】	pp.3-12で「散水及びトイレの洗浄水に雨水を利用する」と記載があるが、雨水の利用量はどの程度予定しているのか。（散水・トイレの洗浄に使用する量のどのくらいの割合か。）	雨水の利用量は、散水及びトイレの洗浄水の年間使用量の50%を想定しています。
【廃棄物等】	廃棄物等について、スタジアム近隣の吹田市資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）との連携は何か考えているのか。	施設供用時の廃棄物については、提案書に記載した内容の他に、スタジアム内の店舗においてできる限り同一規格の容器を使用することによるゴミの減量化やリサイクルの推進なども現在検討中です。吹田市資源リサイクルセンターとの連携についても、どのような形で連携が可能かについて今後検討していきます。
【大気汚染】	微小粒子状物質も環境基準が設定されているので、pp.4-60大気汚染の箇所で見況を記述した方がよいのではないかと。	微小粒子状物質（PM2.5）については、吹田市において、平成23年6月より調査が行なわれていますが、結果についてはまだ公表されていません。評価書案作成時に結果が公開されている場合は、その内容について記載します。
【ヒートアイランド現象】	pp.3-12に、ヒートアイランド現象抑制のために「浸透性インターロッキングブロック舗装を採用する。」と記載があるが、保水性を採用しないのは何故か。	保水性についてはまだ実績が少ないことから、耐荷重性、耐久性、価格等、総合的な視点から、今後採否を検討していきます。
【騒音】	スタジアムから近距離にある住宅の状況はどのようなものか。（地図で示してください。）	別紙1に示すとおりです。
	ゲーム中の応援の声や楽器の音などについても評価項目とする必要があると思われるが、予測項目である「施設の供用」にはこれらが含まれるのか。（含まれないのならば、その根拠を教えてください。）	「施設の供用」における騒音の予測においては、類似の施設において、応援の声や楽器の音などを含めた、ゲーム中の騒音を測定し、それを原単位として予測する予定です。よって、これらを含んだ騒音についての評価となります。
【動植物】	環境取組内容の72で、「周辺地域に多く植生するつつじ、しらかし、くすのきなどの樹種を植栽計画の中で採用する。」と記載があるが、これらはもともと植栽されたものであり、生物多様性の観点や壊してしまった自然環境を復元するという考えから樹種を選定することは可能でしょうか。（コナラ、アベマキ、エノキ、ムクノキなどの樹種が望ましいです。）	今後の植栽計画の中で、検討いたします。
【緑化】	pp.3-7で、「地元住民やサポーターからの募金により、植栽活動を推進し、豊かな環境を未来への財産としてはぐくむ計画である。」と記載があるが、緑化計画の持続について、周辺住民からの募金が入手できない場合にはどうなるのか。	募金団体は、スタジアムを吹田市に寄付したのちは、募金活動を継続することができません。pp.3-7の文章は、募金の一部をスタジアム建設に伴う植栽工事にあてることを意味しています。

項目	質問	回答	
【景観】	スタジアム外観のみならず、観客の移動空間であるスタジアム内観への配慮は予定しているのか。	スタジアムに用いる材料は、環境配慮の面からも維持管理の手間が少ないものを想定しています。コンクリートや鉄の素材感を活かした内観を想定しています。	
【交通】	(交通計画・駐車場計画)	pp.3-8に、「観客の自家用車等の来場台数は、約3,100台と想定される。」と記載があるが、台数の根拠は何か。	台数設定の方法は、別紙2に示すとおりです。
		観客40000人来場時の交通手段別の予測値とその予測プロセスはどのようなものか。	40000人来場時の交通手段別の来場者数の予測については、別紙2の通りです。
		pp.3-8に、万博記念機構が運営する駐車場を利用する計画であり、「新たな観客用駐車場の建設は行なわない。」と記載があるが、他行事と重なり十分な駐車場を確保できない場合があるのではないか。(現況の駐車場の利用状況のデータを示してください。)	平成23年11月26日(ガンバ大阪の主催試合：平成23年シーズンホーム最終戦開催日、観客数約20,000人)の駐車場利用状況調査結果は別紙3の通りです。この結果によれば、来場車両台数が約3100の場合、駐車場は不足しないと想定されます。ただし、ゴールデンウィーク等の時期には、駐車場が不足することが考えられます。その場合は、ナイター開催とするなど、対応を検討します。
		観客40000人来場時の周辺施設(万博記念公園、旧エキスポランド、周辺住宅等)が想定する交通手段別の利用者数の想定はどのようなものか。	周辺施設への交通手段別の利用者数については、基本的に現状と変化しないものとして、現状の調査結果を基に、予測・評価を行なう計画です。よって、特に、想定はしていません。なお、今後、周辺施設への来場者が変化する要因等が明らかになった場合には、必要に応じて検討します。
	(調査・予測評価の手法)	現況調査の調査範囲・地点の選択の理由は何か(7交差点の抽出理由)。	来場車両の主要な走行ルートとなる、万博外周道路及びその近接道路において、信号による処理が行なわれている地点を選定しました。
		現況調査の具体的な調査時期はいつか。特に休日のイベントの有無についての考え方はどのようなものか。	調査日については、基本的な予測のベースとしては、年間の平均的な状態を調査することとし、特別な大規模イベント等が無く、夏休みやゴールデンウィーク等に該当しない、一般的な日を設定する予定です。ただし、参考として、ゴールデンウィーク等の混雑が予測される時期についても、調査を実施する予定です。
		表7-3(22)の予測の手法について、「施設関連車両の走行による影響」の予測方法の詳細はどのようなものか。	現地調査結果に基づき、各交差点における現況の交差点需要率等を算出します。また、現況交通に、本計画による増加交通量を加えた将来の交差点交通量を設定し、各交差点の将来の交差点需要率等を予測し、評価します。
		表7-3(22)の予測の手法について、予測方法に「交差点需要率等」とあるが、交差点需要率の他の予測指標は何か。	車線別の混雑度を予測する計画です。

項目	質問	回答
【その他】	<p>pp.3-10の図3-6に、「駐車場配置図」の記載があるが、こらの駐車場に対して、舗装改装などを実施しないのか。（舗装改修をされるのであれば、アスファルト舗装ではなく、（1）都市の蓄熱の低減、（2）地中の水循環系の維持の視点から検討をしていただきたい。）</p>	<p>募金団体は、スタジアムを建設することを目的に設立されたため、駐車場改修の費用を負担することはできません。所有者である、万博記念機構に対しては、環境に配慮する提案を働きかけていきます。</p>
【その他】	<p>pp.3-7の表3-3「年間主要試合開催数」に、原則土曜日・日曜日開催でステップアップリーグを開催するとあるが、観客数や観客の自家用車等の来場者数は何台ぐらいか。</p>	<p>ステップアップリーグの来場者数は、現状500人定度です。</p>



## スタジアム建設後の交通手段別来場者数・来場車両数等について

### 1. 推計の考え方

- ・観客の自家用車等の来場台数、交通手段別の来場者数等については、平成 23 年 11 月 26 日に万博記念競技場で開催されたガンバ大阪の主催試合（平成 23 年シーズンホーム最終戦、観客数約 20,000 人）において実施した、観客へのアンケート調査結果を基に推計しました。
- ・推計に当たっては、公共交通機関利用促進のための対策（モノレール、バスの増便等）を講じることを前提に、自動車から公共交通機関への利用交通手段の転換を考慮しました。

### 2. アンケート調査結果

#### ①利用交通手段

- ・自動車分担率：30%（自動車 29.1+タクシー0.7）
- ・モノレール分担率：39%、バス分担率：13%

	全体	自動車	タクシー	モノレール	バス	自動二輪	自転車	徒歩	その他	無回答
人数	1,646	479	11	637	215	70	184	40	9	1
比率	100.0%	29.1%	0.7%	38.7%	13.1%	4.3%	11.2%	2.4%	0.5%	0.1%

#### ②自動車 1 台あたりの乗車人員（自動車運転者への調査結果）

	全体	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上	平均乗車人員
人数	304	44	147	59	44	5	5	2.45 人/台 (左記の結果の加重平均)
比率	100.0%	14.5%	48.4%	19.4%	14.5%	1.6%	1.6%	

#### ③公共交通機関への転換意向

- サービスが向上した場合、公共交通機関（モノレール・バス）で来場する可能性  
(自動車・タクシーでの来場者への調査結果)

- ・転換率：47%～56%

	全体	ある	ない	わからない	無回答
人数	490	232	181	72	5
比率	100.0%	47.3%	36.9%	14.7%	1.0%

56.2% (= 232 / (232 + 181))

- 転換する場合の利用交通機関（上記で「ある」と回答した人への調査結果、複数回答）

- ・モノレール：64%、バス：36%

	全体	モノレール	バス
人数	232	185	107
比率	100.0%	79.7%	46.1%

292 (= 185 + 107)  
に対する比率

モノレール：63.4%  
バス：36.6%

### 3. 自動車及び公共交通機関（モノレール・バス）での来場者数等

#### ○現状（来場者 20,000 人）での手段別来場者数等推計

手段	自動車	モノレール	バス
人数	6,000	7,800	2,600
台数	2,450	—	44

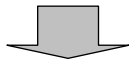
・分担比率は自動車：30%、モノレール：39%、バス：13%とした。  
 ・平均乗車人員は、自動車：2.45人／台、バス：60人／台とした。（バスは最低必要台数）

#### ○将来（来場者 40,000 人）での手段別来場者数等推計

- ・公共交通機関への転換を考慮しない場合

手段	自動車	モノレール	バス
人数	12,000	15,600	5,200
台数	4,900	—	87

・分担比率は自動車：30%、モノレール：39%、バス：13%とした。  
 ・平均乗車人員は、自動車：2.45人／台、バス：60人／台とした。（バスは最低必要台数）



- ・公共交通機関への転換を考慮した場合

手段	自動車	モノレール	バス
人数	7,500 (1,500)	18,500 (10,700)	6,800 (4,200)
台数	3,100 (650)	—	114 (70)

・自動車から公共交通機関への転換率は、37.5%とした。  
 （転換の可能性があると回答率47%の80%）  
 ※前段の低い方の値を採用し、さらにアンケートでのバイアスを考慮し補正  
 ・転換者のモノレール・バスへの配分比率は、モノレール：64%、バス：36%とした。  
 （転換する交通機関の回答人数 モノレール：185、バス：107 の比率）  
 ・（ ）内の数字は、現状（来場者 20,000 人）からの増加分

なお、公共交通機関への転換促進のため、関係機関との協議や他のスタジアム等での施策等を踏まえ、できる限りのサービス向上を図っていきたいと考えております。

現在実施を検討している主な施策は以下の通りです。

#### ■モノレール

- ・モノレールの増便（5分間隔での運行）
- ・サッカー観戦がセットになった割引モノレール乗車券の販売
- ・ガンバ大阪オリジナルグッズ付きのモノレール乗車券の販売
- ・試合当日のモノレール乗り放題チケットの販売（2012年より実施済み）

#### ■バス

- ・サッカー観戦がセットになった割引バス乗車券の販売  
 または観戦チケットを見せるとバス料金の割引が受けられる仕組み
- ・ガンバ大阪オリジナルグッズ付きのバス乗車券の販売
- ・バス車内で試合日限定の選手メッセージ映像等を放映（例：千葉ロッテマリーンズ）
- ・臨時バスの路線拡大（阪急山田、北千里、JR岸部、千里山など）
- ・大阪駅など中距離からのシャトルバス運行

■その他

- ・試合終了後の帰宅時間を分散させるため、スタジアム周辺でのイベント開催やアフターバーなどを実施する。
- ・選手を起用した、公共交通機関の利用促進をはかる啓発活動。

## 駐車場利用状況調査について

### 1. 駐車場利用状況調査結果

- ・ 駐車場利用状況調査については、万博記念競技場でガンバ大阪の主催試合（平成 23 年シーズンホーム最終戦、観客数約 20,000 人）が開催された平成 23 年 11 月 26 日に実施しました。調査結果は次の通りです。

種 別	収容台数	ピーク時 駐車台数	ピーク時 空き台数	備 考
南第 1 駐車場	1,338	583	755	
南第 2 駐車場	758	761	—	14 時頃に満車
中央駐車場	941	494	447	
東駐車場	1,001	1,009	—	11 時頃に満車
日本庭園前駐車場	582	588	—	12 時頃に満車
西第 1 駐車場	709	253	456	

### 2. スタジアム建設後の駐車場台数想定

- ・ 新スタジアム建設後、新スタジアムに近い駐車場の空き台数は、次の通りです。

南第 1 駐車場 755 台 + 中央駐車場 447 台 = 合計 1,202 台

- ・ 新スタジアム建設後には、南第 2 駐車場（収容台数 758 台）が廃止される。  
一方、スタジアム内に 200 台の駐車場が設置される。  
よって、新スタジアム建設後の利用可能空き台数は次の通りです。

$1,202 - 758 + 200 = 644$  台 ≒ 約 650 台

- ・ 来場車両台数推計結果では、将来、公共交通機関への転換を考慮した場合、来場車両の増加台数は、次の通りと推計されます。

$3,100 - 2,450 = 650$  台

- ・ 以上のことから、来場車両は駐車場に収容可能と考えられます。  
ただし、余裕はないこと、来場者の多いゴールデンウィーク等には、駐車場が不足することが考えられることなどから、状況に応じ、ナイター開催とするなど、対応を検討・実施することが必要と考えております。